

## 本学教員執筆書籍の紹介

岩崎 寛編集 縦 260 × 横 180mm 325 ページ

# For Professional Anesthesiologists 筋弛緩薬

克誠堂出版 2010年9月15日発行 税込価格 9,450円

岩 崎 寛

筋弛緩薬は臨床麻酔において極めて重要なものであり、近年、臨床使用薬物、投与方法および拮抗に関して大きく変化してきています。本書では、基礎編として筋弛緩薬の歴史、神経筋接合部の構造や生理を解説し筋弛緩薬の薬理作用について理解して頂くように構成されています。特に、呼吸筋群や末梢骨格筋の筋繊維の特徴や筋収縮伝達の基礎的知識は臨床における筋弛緩薬の薬効動態を理解する上での必要な知識を載せております。また、筋弛緩薬の薬物動態学およびその効果に影響する諸因子や効果判定のためのモニタリングの原理を解説することにより、麻酔管理における臨床的理解がより深まることを期待しています。これまであまり触れられることの無かった筋弛緩薬の効果部位濃度シミュレーションについて、その基本的知識から臨床的な応用までを平易に解説しております。近年では麻酔管理システムに筋弛緩薬のみならず多くの麻酔

関連薬物の効果部位濃度シミュレーションが表示可能となっており、麻酔科医にとっては馴染みが出てきたものです。この点についても臨床的側面から解説しております。

一方、臨床編では各種の筋弛緩薬の薬理学的作用の特徴を解説し、麻酔導入から維持、そして拮抗までの一連の麻酔管理に於ける筋弛緩薬の上手な使い方、筋弛緩程度の適切な維持、そして至適筋弛緩拮抗について臨床的に平易に記載されています。

本書は筋弛緩薬の基礎および臨床について専門的知識を持つ臨床家に解説して頂いており、麻酔科専門医にはこれまでの知識の整理に、そして麻酔科認定医や研修医には分かり易い筋弛緩解説書として有用であり、安全で確実な麻酔管理を遂行するために役立つことを期待しています。

(旭川医科大学 麻酔・蘇生学講座)